

2017年度 施設情報 総合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	110 数
一般病院	525 数
個人医療機関	4 数
登録衛生検査所	87 数
検診機関	43 数
合計	769 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	2,477 数	1: 定期的に週2回以上勤務	237 数
② 経年数		2: 毎週1回勤務: 3時間以上	330 数
経年数合計/細胞診専門医数 (平均)	18.8 年	3: 毎週1回勤務: 1時間~3時間未満	140 数
③ 常勤か非常勤		4: 2週間に1回勤務: 3時間以上	54 数
常勤	1,321 数	5: 2週間に1回勤務: 1時間~3時間未満	59 数
非常勤	1,143 数	6: それ以外	345 数
		合計	1,165 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	いいえ
		数	数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	4,549 数	常勤	3,590 数
② 経年数		非常勤	959 数
経年数合計/細胞診検査士数(平均)	17.9 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	2,573,521	516,154	23,320	37,088	3,150,083	156,267
呼吸器	973,535	34,935	70,635	59,048	1,138,153	120,236
消化器	63,453	21,890	20,920	6,821	113,084	38,105
泌尿器	1,516,529	130,749	45,317	1,834	1,694,429	98,981
乳腺	109,414	20,563	23,861	31,465	185,303	38,047
甲状腺	89,613	19,238	13,664	19,123	141,638	14,629
体腔液	228,816	32,520	49,107	612	311,055	82,735
リンパ節	25,114	6,822	18,174	4,079	54,189	24,009
その他	94,773	15,315	12,626	5,455	128,169	22,620
小計	5,674,768	798,186	277,624	165,525	6,916,103	601,313

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
19,579	9,775,043	213,878	49,738	147,548	96,920	14,349	8,445	9,015	711	1,268	10,336,494

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	3,347	671	30	48	4,096	203
呼吸器	1,266	45	92	77	1,480	156
消化器	83	28	27	9	147	50
泌尿器	1,972	170	59	2	2,203	129
乳腺	142	27	31	41	241	49
甲状腺	117	25	18	25	184	19
体腔液	298	42	64	1	404	108
リンパ節	33	9	24	5	70	31
その他	123	20	16	7	167	29
小計	7,379	1,038	361	215	8,994	782

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
25	12,711	278	65	192	126	19	11	12	1	2	13,441

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	3,272 数	医師	数	プログラム	1,298 数
技師参加者	11,564 数	技師	数	成績(平均)	98.0 %
合計	14,836 数	参加者	数		

2017年度 大学附属病院 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	110 数
一般病院	数
個人医療機関	数
登録衛生検査所	数
検診機関	数
合計	110 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	633 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	12 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	31 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	13.9 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	2 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	12 数
常勤	543 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	7 数
非常勤	90 数	6 : それ以外	26 数
		合計	90 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	数
		いいえ	数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	736 数	常勤	697 数
② 経験年数		非常勤	39 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	14.4 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	246,100	23,654	5,874	5,119	280,747	55,049
呼吸器	71,422	7,351	17,910	5,165	101,548	34,738
消化器	19,010	6,855	6,421	2,511	34,797	13,647
泌尿器	168,764	20,887	8,436	255	198,342	23,401
乳腺	9,544	2,276	3,758	3,733	19,536	8,123
甲状腺	15,674	4,211	2,888	5,277	28,050	3,846
体腔液	61,665	17,154	11,754	198	90,771	26,684
リンパ節	7,320	3,144	6,209	1,655	18,328	8,045
その他	31,444	4,047	4,111	1,631	41,233	10,072
小計	630,943	89,579	67,361	25,544	813,352	183,605

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
1,455	341,222	17,588	4,555	15,322	16,177	2,059	2,382	1,454	191	352	402,757

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	2,237	215	53	47	2,552	500
呼吸器	649	67	163	47	923	316
消化器	173	62	58	23	316	124
泌尿器	1,534	190	77	2	1,803	213
乳腺	87	21	34	34	178	74
甲状腺	142	38	26	48	255	35
体腔液	561	156	107	2	825	243
リンパ節	67	29	56	15	167	73
その他	286	37	37	15	375	92
小計	5,736	814	612	232	7,394	1,669

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
13	3,102	160	41	139	147	19	22	13	2	3	3,661

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	859 数	医師	数	プログラム	190 数
技師参加者	2,211 数	技師	数	成績(平均)	98.0 %
合計	3,070 数	参加者	0 数		

2017年度 一般病院 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	数
一般病院	525 数
個人医療機関	数
登録衛生検査所	数
検診機関	数
合計	525 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	1,128 数	1: 定期的に週2回以上勤務	45 数
② 経年数		2: 毎週1回勤務: 3時間以上	210 数
経年数合計/細胞診専門医数 (平均)	18.9 年	3: 毎週1回勤務: 1時間~3時間未満	37 数
③ 常勤か非常勤		4: 2週間に1回勤務: 3時間以上	33 数
常勤	714 数	5: 2週間に1回勤務: 1時間~3時間未満	22 数
非常勤	453 数	6: それ以外	111 数
		合計	458 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	数
		いいえ	数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	2,195 数	常勤	2,015 数
② 経年数		非常勤	180 数
経年数合計/細胞診検査士数(平均)	15.2 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	735,211	439,554	11,097	16,100	1,201,962	81,211
呼吸器	202,984	16,555	44,102	16,855	280,496	81,473
消化器	35,888	12,147	13,158	3,744	64,937	21,098
泌尿器	467,102	54,986	25,023	854	547,965	59,521
乳腺	38,178	7,615	11,854	11,236	68,883	21,989
甲状腺	46,882	9,896	7,388	9,856	74,022	7,926
体腔液	126,895	11,123	28,556	298	166,872	48,211
リンパ節	14,881	3,124	9,887	2,001	29,893	11,017
その他	45,001	7,011	6,625	2,855	61,492	15,240
小計	1,713,022	562,011	157,690	63,799	2,496,522	347,686

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
6,887	1,489,854	51,654	16,882	36,752	30,897	4,887	3,140	5,988	160	625	1,647,726

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,400	837	21	31	2,289	155
呼吸器	387	32	84	32	534	155
消化器	68	23	25	7	124	40
泌尿器	890	105	48	2	1,044	113
乳腺	73	15	23	21	131	42
甲状腺	89	19	14	19	141	15
体腔液	242	21	54	1	318	92
リンパ節	28	6	19	4	57	21
その他	86	13	13	5	117	29
小計	3,263	1,070	300	122	4,755	662

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
13	2,838	98	32	70	59	9	6	11	0	1	3,139

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	1,681 数	医師	数	プログラム	877 数
技師参加者	6,094 数	技師	数	成績(平均)	98.0 %
合計	7,775 数	参加者	0 数		

2017年度 個人医療機関 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	数
一般病院	数
個人医療機関	4 数
登録衛生検査所	数
検診機関	数
合計	4 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	7 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	1 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	2 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	31.0 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	1 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	0 数
常勤	3 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	0 数
非常勤	4 数	6 : それ以外	0 数
		合計	4 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	数
		いいえ	数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	12 数	常勤	11 数
② 経験年数		非常勤	1 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	19.5 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,152	21	9	26	1,208	76
呼吸器	119	20	20	35	194	45
消化器	60	10	10	7	87	11
泌尿器	651	37	12	0	700	34
乳腺	2	2	3	0	7	0
甲状腺	5,192	665	1,525	147	7,529	1,623
体腔液	100	12	20	0	132	0
リンパ節	204	24	354	53	635	222
その他	8	0	0	1	9	0
小計	7,488	791	1,953	269	10,501	2,011

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
13	11,522	282	89	165	79	16	4	3	1	0	12,174

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	288	5	2	7	302	19
呼吸器	30	5	5	9	49	11
消化器	15	3	3	2	22	3
泌尿器	163	9	3	0	175	9
乳腺	1	1	1	0	2	0
甲状腺	1,298	166	381	37	1,882	406
体腔液	25	3	5	0	33	0
リンパ節	51	6	89	13	159	56
その他	2	0	0	0	2	0
小計	1,872	198	488	67	2,625	503

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
3	2,881	71	22	41	20	4	1	1	0	0	3,044

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	7 数	医師	数	プログラム	4 数
技師参加者	13 数	技師	数	成績(平均)	100.0 %
合計	20 数	参加者	0 数		

2017年度 登録衛生検査所 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	数
一般病院	数
個人医療機関	数
登録衛生検査所	87 数
検診機関	数
合計	87 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	393 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	120 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	52 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	23.0 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	74 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	5 数
常勤	43 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	9 数
非常勤	388 数	6 : それ以外	113 数
		合計	373 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	いいえ
		数	数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	1,325 数	常勤	568 数
② 経験年数		非常勤	757 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	22.0 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,352,499	48,586	6,011	13,988	1,421,084	29,160
呼吸器	588,025	10,111	7,825	29,995	635,956	7,717
消化器	7,751	2,759	1,195	541	12,246	1,489
泌尿器	863,801	54,128	11,515	670	930,114	16,258
乳腺	60,002	10,378	7,758	15,998	94,136	7,142
甲状腺	18,554	4,328	1,695	3,555	28,132	499
体腔液	38,854	4,166	8,455	110	51,585	3,812
リンパ節	2,611	522	1,688	355	5,176	691
その他	17,662	4,198	1,855	950	24,665	995
小計	2,949,759	139,176	47,997	66,162	3,203,094	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
9,299	6,401,558	130,968	25,014	85,011	43,119	5,821	2,566	1,355	311	261	6,705,283

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	15,546	558	69	161	16,334	335
呼吸器	6,759	116	90	345	7,310	89
消化器	89	32	14	6	141	17
泌尿器	9,929	622	132	8	10,691	187
乳腺	690	119	89	184	1,082	82
甲状腺	213	50	19	41	323	6
体腔液	447	48	97	1	593	44
リンパ節	30	6	19	4	59	8
その他	203	48	21	11	284	11
小計	33,905	1,600	552	760	36,817	0

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
107	73,581	1,505	288	977	496	67	29	16	4	3	77,072

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	514 数	医師	数	プログラム	152 数
技師参加者	2,235 数	技師	数	成績(平均)	98.0 %
合計	2,749 数	参加者	0 数		

2017年度 施設情報 総合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	数
一般病院	数
個人医療機関	数
登録衛生検査所	数
検診機関	43 数
合計	43 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	130 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	15 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	13 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	28.0 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	28 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	5 数
常勤	12 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	10 数
非常勤	118 数	6 : それ以外	46 数
		合計	117 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	数
		いいえ	数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	366 数	常勤	278 数
② 経験年数		非常勤	62 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	26.0 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	238,559	4,339	329	1,855	245,082	2,311
呼吸器	110,985	898	778	6,998	119,659	299
消化器	744	119	136	18	1,017	402
泌尿器	16,211	711	331	55	17,308	199
乳腺	1,688	292	488	498	2,966	105
甲状腺	3,311	138	168	288	3,905	5
体腔液	1,302	65	322	6	1,695	88
リンパ節	98	8	36	15	157	5
その他	658	59	35	18	770	2
小計	373,556	6,629	2,623	9,751	392,559	3,416

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
1,925	1,530,887	13,386	3,198	10,298	6,648	1,566	353	215	48	25	1,568,549

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	5,548	101	8	43	5,700	54
呼吸器	2,581	21	18	163	2,783	7
消化器	17	3	3	0	24	9
泌尿器	377	17	8	1	403	5
乳腺	39	7	11	12	69	2
甲状腺	77	3	4	7	91	0
体腔液	30	2	7	0	39	2
リンパ節	2	0	1	0	4	0
その他	15	1	1	0	18	0
小計	8,687	154	61	227	9,129	79

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
45	35,602	311	74	239	155	36	8	5	1	1	36,478

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	211 数	医師	数	プログラム	75 数
技師参加者	1,011 数	技師	数	成績(平均)	96.8 %
合計	1,222 数	参加者	数		

精度管理に関する質問調査 総合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	752	いいえ	15		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	733	いいえ	34		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	702	いいえ	65	「はい」ならば何%くらいですか	29.8 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	708	いいえ	53	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	43.0 % 5.0 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	764	いいえ	2	標本の保管年数 報告書の保管年数	35.0 年 59.0 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	763	いいえ	5		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	762	いいえ	5		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	763	いいえ	4		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	763	いいえ	4		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	562	いいえ	207		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	345	いいえ	419	1日の最大検体数	69.2 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	489	いいえ	266		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	764	いいえ	4		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	750	いいえ	16		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	749	いいえ	16		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	701	いいえ	58		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	754	いいえ	12		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けていますか？	はい	667	いいえ	94	「いいえ」の場合何%	27.7 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	516	いいえ	239	「はい」の場合 一年何回	50.7 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	459	いいえ	281		

精度管理に関する質問調査 大学附属病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	108	いいえ	2		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	106	いいえ	4		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けられるように努めていますか？	はい	105	いいえ	5	「はい」ならば何%くらいですか	51.0 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	103	いいえ	4	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	55.0 % 3.5 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	108	いいえ	1	標本の保管年数 報告書の保管年数	49.0 年 78.0 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	108	いいえ	2		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	108	いいえ	2		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	109	いいえ	1		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	109	いいえ	1		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	83	いいえ	27		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	33	いいえ	75	1日の最大検体数	50.0 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	56	いいえ	52		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	109	いいえ	1		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	108	いいえ	2		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	106	いいえ	4		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	100	いいえ	9		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	105	いいえ	5		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けられるようにしていますか？	はい	104	いいえ	6	「いいえ」の場合何%	58.0 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	78	いいえ	26	「はい」の場合 一年何回	52.0 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	78	いいえ	26		

精度管理に関する質問調査 一般病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	516	いいえ	7		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	499	いいえ	24		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	485	いいえ	38	「はい」ならば何%くらいですか	31.0 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	475	いいえ	45	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	49.9 % 4.1 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	522	いいえ	1	標本の保管年数 報告書の保管年数	38.0 年 77.5 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	521	いいえ	2		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	520	いいえ	3		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	522	いいえ	1		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	521	いいえ	2		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	348	いいえ	175		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	199	いいえ	323	1日の最大検体数	55.0 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	324	いいえ	188		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	522	いいえ	2		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	511	いいえ	12		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	510	いいえ	12		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適當な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	468	いいえ	49		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	517	いいえ	6		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	453	いいえ	65	「いいえ」の場合何%	26.0 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	323	いいえ	195	「はい」の場合 一年何回	43.0 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	270	いいえ	235		

精度管理に関する質問調査 個人病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	4	いいえ	0		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	4	いいえ	0		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	4	いいえ	0	「はい」ならば何%くらいですか	32.8 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	4	いいえ	0	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	42.3 % %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	4	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	8.5 年 55.3 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	4	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	4	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	4	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	4	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	3	いいえ	1		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	3	いいえ	1	1日の最大検体数	50.0 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	3	いいえ	1		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	4	いいえ	0		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	4	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	4	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	4	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	4	いいえ	0	「いいえ」の場合何%	%
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	3	いいえ	1	「はい」の場合 一年何回	28.3 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	1	いいえ	2		

精度管理に関する質問調査 登録衛生検査所 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	82	いいえ	5		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	82	いいえ	5		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	77	いいえ	10	「はい」ならば何%くらいですか	7.5 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	84	いいえ	3	「はい」の場合のダブルチェック実施率	19.0 %
						「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	8.0 %
(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	87	いいえ	0	標本の保管年数	7.6 年	
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	87	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	87	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	85	いいえ	2		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	86	いいえ	1		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	85	いいえ	1		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	75	いいえ	12	1日の最大検体数	82.0 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	68	いいえ	19		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	86	いいえ	1		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	87	いいえ	0		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	86	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	86	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	85	いいえ	1		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けていますか？	はい	69	いいえ	17	「いいえ」の場合何%	20.1 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	78	いいえ	8	「はい」の場合 一年何回	28.3 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	78	いいえ	8		

精度管理に関する質問調査 検診施設 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	42	いいえ	1		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	42	いいえ	1		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	31	いいえ	12	「はい」ならば何%くらいですか	13.3 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	42	いいえ	1	「はい」の場合のダブルチェック実施率	34.0 %
						「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	5.0 %
(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	43	いいえ	0	標本の保管年数	6.1 年	
					報告書の保管年数	8.4 年	
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	43	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	43	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	43	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	43	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	43	いいえ	3		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	35	いいえ	8	1日の最大検体数	88.0 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	38	いいえ	6		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	43	いいえ	0		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	41	いいえ	2		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	43	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	43	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	43	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	37	いいえ	6	「いいえ」の場合何%	16.7 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	34	いいえ	9	「はい」の場合 一年何回	25.1 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	32	いいえ	10		